



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月3日

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌 (氏名) 山本 幸二

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,851	△2.4	557	△4.6	558	△3.7	335	△5.4
25年3月期第3四半期	8,045	△5.1	584	△1.2	580	△9.0	354	12.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	21.03	20.92
25年3月期第3四半期	22.22	22.15

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	17,956	10,142	56.4	634.36
25年3月期	17,704	9,734	54.9	609.03

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 10,129百万円 25年3月期 9,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	0.3	450	△1.0	450	△5.6	270	△2.2	16.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③会計上の見積りの変更 : 無
- ④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	16,009,000 株	25年3月期	16,009,000 株
26年3月期3Q	40,791 株	25年3月期	38,893 株
26年3月期3Q	15,969,059 株	25年3月期3Q	15,967,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	8
(1) 受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安の定着や金融市場の活況、公共投資の拡大により、景気回復が続くと見られておりますが、消費税増税や原材料の値上りによる影響がリスクとして残ります。

世界経済においては、米国を中心とする先進国経済の好転に牽引されながらも、世界的な金利の上昇が新興国や発展途上国の経済に打撃を与える可能性が引き続き示唆されております。

当社の関わる海運・造船業界におきましては、大手造船所では受注回復が報じられる一方、本格的な回復の兆しが見えにくい中小手造船所でも、一部には新船建造への動きが見られております。当社が主力とする内航船分野につきましては、価格下落の歯止めはかからないものの、セメント船や油送船、ガット船の引き合いが続いております。また、復興需要に加えて東京五輪の好影響も期待されるところであります。海外案件でも韓国・台湾の商船や漁船などに引き合いが継続しておりますが、価格面では厳しい状況が続いております。

このような企業環境のもと、当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高は、主機関が増加し前年同期比10.1%増の7,650百万円となりました。売上高は、部分品の落ち込みもあり同2.4%減の7,851百万円となりました。受注残高は、主機関の受注が増加したことにより同1.9%増の3,478百万円となりました。

損益面につきましては、前年同期に比べ減収・減益となったものの、主機関価格の下落が予想より緩和したことに加え、短納期案件の受注や内製化による操業度アップ、海外調達や競争購買による仕入コストの削減および経費削減を進めた結果、営業利益は557百万円（前年同期比4.6%減）、経常利益は558百万円（同3.7%減）、四半期純利益は335百万円（同5.4%減）となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、国内売上が輸出減を上回り4,683百万円（前年同期比1.0%増）となりました。部分品・修理工事では主に国内販売が落ち込み3,167百万円（同7.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は8,853百万円となり、前会計年度末に比べ345百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が278百万円減少したものの、有価証券が700百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,102百万円となり、前会計年度末に比べ93百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が110百万円増加したものの、有形固定資産が208百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、17,956百万円となり、前会計年度末に比べ251百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は4,566百万円となり、前会計年度末に比べ127百万円増加いたしました。これは主に前受金が215百万円、引当金が109百万円、1年内返済予定の長期借入金が75百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が603百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,246百万円となり、前会計年度末に比べ284百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が257百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,813百万円となり、前会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は10,142百万円となり、前会計年度末に比べ408百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が287百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が115百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.4%（前会計年度末は54.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期累計期間の実績は、利益面において通期の業績予想を上回っておりますが、変化の激しい経営環境の中で、先行きの見通し難から、現時点では平成25年11月5日に公表いたしました通期業績予想の修正は行っておりません。今後、修正の必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

① 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,696,525	2,545,665
受取手形及び売掛金	3,264,024	2,985,418
有価証券	—	700,000
製品	527,878	389,550
仕掛品	964,261	1,193,674
原材料及び貯蔵品	908,081	865,251
その他	303,298	277,281
貸倒引当金	△155,700	△103,000
流動資産合計	8,508,370	8,853,840
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,256,149	1,206,669
構築物(純額)	216,318	200,098
機械及び装置(純額)	816,892	692,428
車両運搬具(純額)	3,042	2,443
工具、器具及び備品(純額)	116,038	109,364
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	12,811	2,034
有形固定資産合計	8,239,124	8,030,910
無形固定資産	26,316	29,663
投資その他の資産		
投資有価証券	656,120	837,756
その他	329,106	256,857
貸倒引当金	△54,200	△52,700
投資その他の資産合計	931,027	1,041,913
固定資産合計	9,196,468	9,102,488
資産合計	17,704,838	17,956,328
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,160,170	2,764,037
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	443,428	368,428
未払法人税等	93,414	129,387
前受金	733,983	518,680
賞与引当金	133,000	66,300
製品保証引当金	21,600	14,200
受注損失引当金	76,200	40,800
その他	637,811	525,098
流動負債合計	4,439,607	4,566,932

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
社債	300,000	230,000
長期借入金	432,860	175,289
再評価に係る繰延税金負債	1,714,667	1,714,667
退職給付引当金	863,803	877,764
その他	219,832	249,008
固定負債合計	3,531,163	3,246,729
負債合計	7,970,771	7,813,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,598	800,598
資本剰余金	42,424	42,424
利益剰余金	5,592,369	5,880,268
自己株式	△10,320	△10,642
株主資本合計	6,425,071	6,712,649
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198,021	313,828
土地再評価差額金	3,103,168	3,103,168
評価・換算差額等合計	3,301,189	3,416,997
新株予約権	7,806	13,020
純資産合計	9,734,067	10,142,666
負債純資産合計	17,704,838	17,956,328

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,045,505	7,851,349
売上原価	5,929,869	5,916,945
売上総利益	2,115,635	1,934,404
販売費及び一般管理費	1,531,259	1,376,686
営業利益	584,375	557,717
営業外収益		
受取利息	1,861	1,905
受取配当金	2,524	6,184
その他	11,397	10,218
営業外収益合計	15,783	18,308
営業外費用		
支払利息	18,013	11,896
その他	1,850	5,225
営業外費用合計	19,864	17,121
経常利益	580,295	558,904
特別損失		
固定資産処分損	2,452	1,095
特別損失合計	2,452	1,095
税引前四半期純利益	577,842	557,809
法人税等	223,000	222,000
四半期純利益	354,842	335,809

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

(i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計) 〔平成24. 4. 1 から 平成24. 12. 31 まで〕	当四半期 (累計) 〔平成25. 4. 1 から 平成25. 12. 31 まで〕	(参考)前期 〔平成24. 4. 1 から 平成25. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	3,539 (51.0%)	4,482 (58.6%)	5,306 (55.1%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	3,406 (49.0%)	3,167 (41.4%)	4,329 (44.9%)
	合 計	6,945 (100.0%)	7,650 (100.0%)	9,636 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	3,414 (100.0%)	3,478 (100.0%)	3,679 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	3,414 (100.0%)	3,478 (100.0%)	3,679 (100.0%)

(ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計) 〔平成24. 4. 1 から 平成24. 12. 31 まで〕	当四半期 (累計) 〔平成25. 4. 1 から 平成25. 12. 31 まで〕	(参考)前期 〔平成24. 4. 1 から 平成25. 3. 31 まで〕
主 機 関		4,638 (57.7%)	4,683 (59.7%)	6,140 (58.6%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		3,406 (42.3%)	3,167 (40.3%)	4,329 (41.4%)
合 計		8,045 (100.0%)	7,851 (100.0%)	10,470 (100.0%)
(うち輸出分)		(1,417) (17.6%)	(1,213) (15.5%)	(1,727) (16.5%)